

# フッ素とセルローズでカバーした ミクロのガラス膜で塗膜をガード ポリマーガードⅢ

## ポリマーとは.....

今まで数多くの方が、試された経験があり、ほとんどの方が3ヶ月位しか持たないと思ったのではないのでしょうか。ポリマーとは、様々な有害物質（酸性雨・鳥糞・鉄粉・紫外線による色あせなど）からボディを護る為生まれたものです。ワックスでもその効果は十分発揮できますが、ワックスは水で流れ落ちてしまう為、効果（水ハジキ）が無くなる前に掛けなくては保護効果が薄れます。ポリマーは、ワックスのような皮膜が1年以上続くように作られたものです。このメーカーのポリマーコーティングも（3~4社以外）、施工日から良くても3ヶ月しか水ハジキはありません。イメージとしては、ワックスのような水玉が続く物とされている方が多いと思います。ポリマーコーティングは、水ハジキは無い物のワックスのような皮膜は、メーカーさんが言われる年数以上は持ちます。ただ汚れたら早めの洗車を、汚れが目立つようであればメンテナンス剤を使用すれば一層効果は持続します。今現在、3年・5年・6年・7年以上と色んなポリマーコーティングがありますが、車の置かれる環境に応じて変わってきますので1年毎の施工店にボディチェックを受けるか施工店のメンテナンス処理、又は状況により再施工をお勧めいたします。

## 親水性

- ・楕円状に水が引いていくようになり水玉のレンズ現象によるメタリックパールの劣化を防ぎます。
- ・耐熱、耐寒性に優れ、-30℃~300℃で全く変化無く残暑時のボンネットにおける耐熱面及び厳寒地の車両に対応できます。

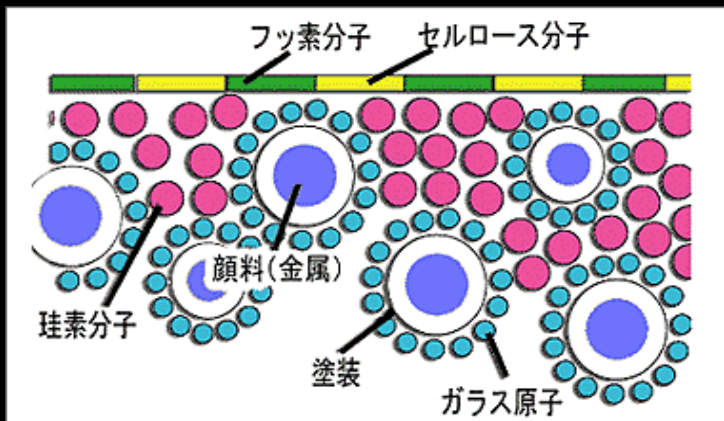
## 耐久性

- ・外部要因から塗膜を保護します。
- ・細かい傷などは無くなります。
- ・平滑性の増加で一般汚れの付着物は水洗い程度で流せます。損害保険の適用も受けられます。

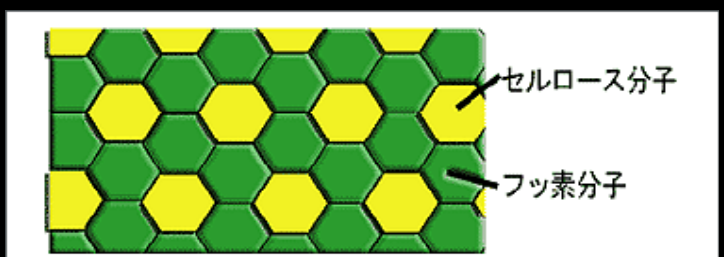
◎ポリマーガードは、塗装を構成している分子に、ガラス原子を架橋(イオン結合)させることで、塗装から剥がれないコーティングを実現しています。また、その上にセルローズ分子とフッ素分子を網目状に絡み合わせて結合することでコーティングを持続させます。

- 1.ガラス原子は塗装分子と架橋(イオン結合)することにより剥がれないコーティングとなる。
- 2.塗装分子とガラス原子の結合表面は凸凹状態のため、共鳴(化学結合)の珪素分子で平らにさせる。
- 3.セルローズ分子とフッ素分子は網目状に絡み合い、珪素分子およびガラス原子と結合した塗装分子の上に共鳴(イオン結合)する。

## 断面図



## 上から見た図



- ・右図のとおり、ガラス原子は塗装が剥がれない限り取れることはないが、珪素分子・セルローズ分子・フッ素分子は、水電子イオンにより、約2~3年程度で弱くなると思われます。

そのため年数回のメンテナンスによりフッ素を結合させ、コーティング効果を維持させる必要性があります。

**ガラス膜**で包み込む  
画期的な表面加工技術

**硬度**  
0.35ミクロンの  
被膜9H硬度

**耐久性**  
新車で3年、新車  
以外で2年。

**親水性**  
WAX不要  
水洗いでOK!